

少年野球

事務局長 廣瀬 信一

当館の一角に、少年野球のコーナーがあります。

その中には、7つのリーグの予選を勝ち抜いた中学生の硬式野球日本一を決める、全日本中学野球選手権大会(ジャイアンツカップ)の優勝チームを紹介しているコーナーがあります。この大会は、1994年に巨人軍創設60周年を記念してスタートさせた主要7リーグによる交流大会で、2007年から日本野球連盟公認の日本選手権大会として開催されています。その初代優勝チームは、昨年夏の甲子園大会で活躍し東海大相模高校からドラフト2位で阪神に入団した一二三 慎太選手がメンバーでいた、ボーイズリーグの「ジュニアホークス」でした。大会は昨年で4回目を迎えましたが、その間優勝チームの内訳はボーイズリーグ3回、シニアリーグ1回となっております。今や、中学生にとってそれぞれが所属するリーグの全国制覇はもちろん、ジャイアンツカップ優勝も大きな目標の一つになってきています。

40数年前、私が中学生の頃の中学野球と言えば、即ち学校のクラブ活動であり、まして学校以外のクラブチームで硬式野球をする者など誰もいませんでした。調べてみると、ボーイズリーグが1970年、リトルシニアが1972年に設立で、他のリーグも日本に設立はそれ以降になりますので、私の周りに硬式をする者がいなくても至極当然の時代でありました。そして、私の長男が10数年前某シニアに所属していた頃は、やはり同学年で硬式をする者は他に誰もおらず、学校全体で2~3人だったと思います。今、次男が長男と同じシニアに所属していますが、クラスには他のリーグに所属している者も含め5~6人いるそうです。また、長男がいたころのチームの人数は3学年合わせて40名前後でしたが、今は1学年で40名、3学年で120名もの大所帯になっています。地域性などもあり一概に言えませんが、中学野球に大きな変化が感じられます。

先の大震災で開催が危ぶまれていた、選抜高校野球大会も、連日熱戦がくり広げられ大いに盛り上がりました。併せて、シニアの全国選抜大会も無事に大阪で開催されました。詳しく調べた訳ではありませんが、書物から判断すると、今回の選抜高校野球大会に出場した選手の7割近くが、中学生の時に硬式野球を経験していたと思われます。野球少年達の夢である、甲子園でプレーすることを実現するために、いつのまにか中学で硬式野球をすることが普通になってきている感じがします。今年1月に、日本野球連盟は全国の7つの主要な中学硬式野球リーグによる「日本中学硬式野球協議会」の発足を発表しました。国内、国際大会の開催や日本代表チームの編成などの話し合いが行われるとのこと。所属するリーグが違っても、中学生にとっての目指す方向は共通であると思いますので、それぞれのリーグが協調し、纏まっていくことは、非常に喜ばしいことだと思います。

今後10年、どのような変貌を遂げていくか引き続き注目していきたいと思います。

このたびの、東日本大震災により被災された皆様方に、心よりお見舞い申し上げます。

被災地の一日も早い、復興をお祈り申し上げます。

尚、当館の地震による影響は、お陰様で展示品、書籍等の被害はありませんでした。

また、計画停電に伴う節電に協力するため、開館時間の短縮を4月末まで実施しております。

ご不便をお掛けしまして、誠に申し訳ありませんでした。



野球体育博物館 トピックス (2011年2月～2011年4月編)

【3月8日】上田氏が来館!



上田 利治氏 (2003年殿堂入り) が来館、館内の応接室でベースボール・マガジン社によるインタビューが行われました。この模様は、同社から5月上旬に発売予定の『阪急ブレーブス 黄金の歴史』に掲載されます。

【3月16日】元女子プロ野球選手が来館!



元女子プロ野球選手の高坂 峰子氏 (大阪日シスターズ)、田久保 昌子氏 (そごうフラワーズ) が来館。女子野球コーナーをはじめ、館内の展示をご覧になりました。

写真 高坂氏 (左)、田久保氏 (右)

【4月2日、3日】久保田名人のバット製作実演を開催!

春休みイベントとして、ミズノテクニクス株式会社の久保田 五十一 (くぼた・いそかず) 氏によるバット製作実演を開催しました。バット製作実演に加えて、イチロー選手や松井 秀喜選手をはじめ、落合氏 (現中日監督、2011年殿堂入り) やピアザ氏 (元ドジャース) のバット製作にまつわる貴重なお話もご披露いただき、ご来館のお客様に喜んでいただきました。

日時 4月2日(土)、3日(日) 11～12時、14～15時
会場 野球殿堂ホール



写真 身振りを交え話をする久保田名人

2011年度の維持会員を募集しています!

財団法人野球体育博物館は、1959(昭和34)年に野球専門の博物館として開館して以来、野球や体育に関する資料を収集・保管・公開してきました。バット等の実物・写真資料は約3万点、図書・雑誌は約5万冊を収蔵しており、展示や閲覧という形で多くの方々に利用していただいております。

また、年1回競技者表彰委員会と特別表彰委員会にて野球界の功労者を選出し、「野球殿堂入り」として表彰しています。維持会員とは、このような博物館の事業にご賛同いただいた方々に、維持会費をお願いし、博物館の運営をご支援いただくものです。

1 会員特典

- (1)当博物館発行「ニュースレター」(季刊)を送付します。
- (2)無料で博物館に入館できる優待証を発行します。
- (3)アメリカの野球博物館(クーパースタウンにある)にも無料で入館できます。
- (4)会員以外の方でも利用できる博物館招待券を差し上げます。
- (5)イベント情報などを優先的にご案内します。
- (6)博物館で販売している商品が10%引きになります。



- *新個人会員には上記の特典のほか、『野球殿堂 1959-2009』を進呈します。(ジュニア会員を除く)
- *新ジュニア会員には上記の特典のほか、「野球体育博物館オリジナルピンバッジ」を差し上げます。

2 会員の種類と会費 年会費(4月～翌年3月迄)

法人会員 1口 100,000円
 個人会員 1口 10,000円
 ジュニア会員(小・中学生) 2,000円

*ご入会月により個人会員の初年度年会費が割引になります。

ご入会月	4月～9月	10月～12月	1月～3月
維持会費(個人会員)	10,000円	5,000円	2,000円

3 ご入会の方法

- ①館内にあります「維持会員募集のご案内」の“入会申込書”に、必要事項をご記入のうえ、係りにお渡しいただくかお送りください。
「維持会員募集のご案内」は郵送もいたしますので、ご希望の方は博物館までご連絡ください。
- ②“入会申込書”が届き次第「維持会費のご請求書」をお送りしますので、維持会費をお振込みください。
お問い合わせ 博物館 業務部 (Tel 03-3811-3600)
皆様のご協力、よろしく申し上げます。



殿堂入りの人々を語る (31)

親子三代甲子園

藤村 哲也 (藤村 富美男氏 長男)



1974年野球殿堂入り
藤村 富美男氏レリーフ

初代ミスター・タイガース。37インチ(約94cm)の長尺バット(物干し竿)を振り回した父のユニホーム姿は、昭和22(1947)年生まれの私には、記憶がありません。唯一記憶に残るのは、父の引退試合でしょうか。新聞雑誌、テレビ、取材等多くの皆さんからの話で知るしかありませんでした。

私が新入社員の頃です。「お父さんにソロバン学校の帰りにサインをもらいに行った時、人だかりの中でソロバンを落とし壊れ、俺がソロバンの珠を泣きながら拾っていた時、お父さんがサインと封筒をくれて、中を見ると「ソロバンを買いなさい」と書いたメモとお金が入っていた」と、「嬉しかったな、今日はその時のお礼だよ」とコーヒーを頂きました。

毎日、神棚にお参りをするのが父の日課でした。ホームランを打った日は、必ずと言っていいほど不用意に神棚に頭をぶつけていたそうです。昭和24(1949)年に46本のホームランを打ち本塁打王となりましたが、以降ホームランが減ってきたある日、母(平成18年6月他界)は父に言ったそうです。「ホームランを打った日は、必ず神棚に頭をぶつけていたよ」と、父は「そんなバカな」と大声で笑っていたそうです。父も気になったのでしょうか、わざとぶつけてもホームランは打てなかったそうです。

「俺は、ファンの人が球場で楽しく野球を見てもらえるプレーをする」とよく言っていたそうです。大きなジェスチャーで、ショーマンと呼ばれていたユニホーム姿は、何枚もの写真で今も見ることがあります。

私が、野球を本格的に始めたのは中学からですが、「用具は大事にしろ」と言われた事が、社会人野球の指導者となった時にも生かされたと思います。

「バットをよくガラスの破片で丁寧に削ってはバットを振っていたよ。多い時は5本ぐらい“明日はこれで打つか””と言いながらスイングをしていた事を母から聞いた事があります。母は笑いながら話を続けてくれました。「お父さんは庭の松の木を枯らしたの」。よく聞いてみると、松に布団を巻きつけ、サンドバック代わりにしていたのでしょうか。母が気がついた時は、もう手遅れだったそうです。

父は“野球バカ”とも言われていたようですが、釣りが好きで私と弟・雅美(平成19年10月他界)と3人で武庫川によく出掛け、父が鼻歌を歌いながら櫓を漕ぎ、「何匹釣った」と競争した事を記憶しています。釣った魚を天ぷらにするのが得意で、「熱いうちに食べる、美味いか」とよく勧めてくれましたが、自分で釣った魚は口にしなかったのが、家族での語り草でした。

新聞、テレビが見えなくなった頃、知人から父のサインを頼まれ、「よし墨をすって」と、色紙と和紙に書いてくれました。過去に何百、何千枚と書いたのでしょうか、最後の1枚を“我が家の家宝”にして、今も大切に飾っています。

映画「栄光への道」、レコードの吹き込み、テレビの必殺シリーズ「必殺仕置人」元締“虎”で出演。京都の撮影所へ私の妻と父の膝に座る娘(当時4歳)とで送迎した事がありました。テレビの最終回で“虎”は殺され、「おじいちゃんが死んだ」と娘が泣き止まないため父に電話をし「おじいちゃんいた」と事なきを得ました。

“憧れの甲子園”。父に続き私が育英高校で、2年後に雅美が三田学園で二代目として出場。私の長男・一仁に続き2年後次男の賢が三重海星高校で出場、甥の光司(雅美の長男)が“親子鷹”で育英高校で三代目として出場し、“親子三代6人”の甲子園出場となったことは、私にとって大きな財産です。

孫の甲子園でのプレーを見られなかった父ですが、母が見守ってくれた事は何よりです。一仁が言ってくれました。「親父、俺達おじいちゃん孝行したのかなあ」と。“甲子園に来い”と呼んでくれたのでしょうか。

父・藤村 富美男を支えて頂いた皆様に感謝申し上げます。



もの 知ってほしいこんな資料(74)

第3回職業野球オールスター東西対抗争覇戦ポスター(1939年)

選ばれた選手が集まって力と技を競うオールスターゲーム。アメリカでは、1933年から始まりました。シカゴ・トリビューン紙のアーチ・ウォード記者が球界関係者たちに働きかけて実現したもので、少年ファンからの「ベープ・ルース(ア・リーグのヤンキース所属の打者)とカール・ハッペル(ナ・リーグのジャイアンツ所属の投手)の対決が見たい」という投書があったともいわれています。

日本では、セントラルとパシフィックの2リーグ制が始まる以前に、1リーグ時代の1937年に始まったオールスター東西対抗戦がオールスターゲームのルーツといえます。当時大阪朝日新聞社の運動部にいた^{あくだ}武夫氏(旧姓^{ひら}氷室 早稲田大学の外野手として活躍、1952~57年(*1)近鉄監督、1988年野球殿堂入り)が発案し、各方面の協力を得て実施にこぎつけたといわれています。第1戦は11月20日に甲子園球場で開催され、沢村 栄治投手(巨人、1959年野球殿堂入り)が完封し東軍が勝利。第2、3戦はともに西村 幸生投手(タイガース、1977年野球殿堂入り)が完投し西軍が勝利し、最初のオールスター東西対抗戦は2勝1敗で西軍の勝ちとなりました。

写真のポスターは1939年第3回オールスター東西対抗戦のもので、タテ93.5cmヨコ63.5cmという大きなものです。一番下に東軍(巨人、セネターズ、イーグルス、金鯱、名古屋)と西軍(タイガース、阪急、南海、ライオン)の監督・選手名が出ています。東軍は、ポスターに名前がある藤本 定義監督(巨人)が都合により欠場したため、主将の荻田 久徳選手(セネターズ)が監督の代行を務めたそうです。東軍、西軍ともに2勝で迎えた第5戦で、東軍が2-1で接戦を制し3勝2敗となり、第3回にして初の東軍勝利となりました。(第2回も2勝1敗で西軍勝利)

11月25日の第2戦では、西軍の重松 通雄投手(阪急)が、7回2死後に東軍の千葉 茂選手(巨人)に与えた四球だけで完投し、おしくも完全試合は逃したものの、ノーヒットノーランを達成しています。千葉氏(巨人)の二塁手として活躍。1959~61年(*2)近鉄監督、1980年野球殿堂入り)の著書『プロ野球人別帳』(1984年 恒文社発行)には、2ストライク3ボールから、アンダーハンドの重松投手の投じた外角低めの投球が「ボール」と判定され、後年、重松氏と千葉氏は、「千葉よ、あれは入っていたぞ」「いや、タマーつはずれていましたよ」という話を繰り返していたと書かれています。(両氏はともに愛媛県出身、重松氏が3歳年長)東西対抗時代は、投手は交代せずに完投できましたが、

完全試合を達成した投手はなく、ノーヒットノーランも重松投手がただ一人達成しています。

その後、1941年からは当時の日本野球連盟(現NPB)が中心となり主催し、戦前は1944年まで続けて開催されました。終戦3カ月後の1945年11月にも、戦後初のプロ野球試合として神宮、桐生、西宮と合計4戦が行われました。1950年にセントラルとパシフィックの2リーグ制が始まりましたが、この年は両リーグでそれぞれ東西対抗が開催され、翌1951年から現在のようなリーグ対抗のオールスターゲームになっています。1937年から東西対抗、リーグ対抗と変化はありますが、名選手による祭典は毎年欠かさず開催されています。2011年は、リーグ対抗としては61回目ですが、東西対抗から数えると75回目のオールスターゲームになります。

*1 1952年9月24日から開幕まで、1957年開幕から6月20日まで

*2 1959年は開幕から6月18日まで





コラム／博覧・博楽 (38)

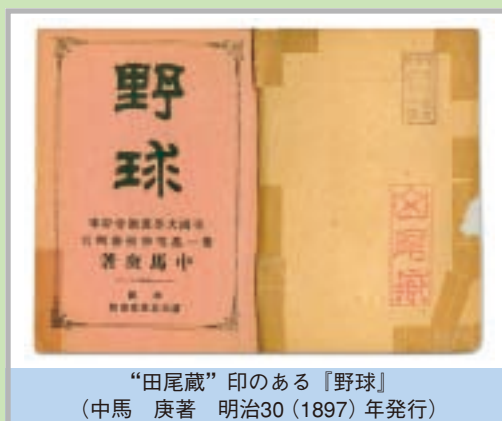


「スポーツマンホテルのこと」

宮坂 忠子（スポーツ史研究者／収集家 田尾 栄一氏 次女）

スポーツマンホテルは 大阪心齋橋の大丸の近く大宝寺にありました。戦前は甲子園にありましたが進駐軍に接収されたために、心齋橋に移りました。経営者は私の父・田尾 栄一です。

父・栄一はスポーツ史研究者、資料収集家として知られておりますが、いつも「スポーツのこと」のみ考えている人で、ホテルの切り盛りは母・ふじえが一身に担っていました。大阪空襲の折には資料のみを大八車に乗せて避難するような人でした。スポーツ関連の方と父との交流は幅広く、ホテルと言う便利さもあり、常にお仲間が訪ねてくると言う有様でした。生涯をかけてひたすら資料収集・研究を続けましたが、膨大な収集資料は全て寄贈されています。野球体育博物館には“田尾蔵書”と記述された資料があります。子どもの頃「このグローブは日本最初のもので」と見せてもらった記憶もあります。先般、野球体育博物館を訪ねた折に司書、学芸員の方から初めて「野球」という言葉を使った貴重な本などが寄贈されていますと伺い、久々に父が嬉しそうに資料の話をしてくれたことなど思い出しました。



“田尾蔵”印のある『野球』
(中馬 庚著 明治30(1897)年発行)

芦屋市立図書館には「田尾文庫」として収蔵され、オリンピック関連の資料は秩父宮記念スポーツ博物館に収蔵されています。

スポーツマンホテルには多くのスポーツ界の方が宿泊されました。野球関連は毎日オリオンズと読売巨人軍とが定宿でした。野球選手の方は家族と離れて遠征のため、残した家族のことを思い出されるのか、幼い私を家族のように可愛いがって下さいました。お土産を下さる方、子ども部屋に気さくに入ってきて、勉強を見てくださる方もありました。野球選手の方はいつも静かで礼儀正しく、ゆったりとロビーでくつろいでいたことが印象的でした。幼い私の方が騒いで、母に叱られたものでした。

母の選手の方への食事の気遣いは大変で、あの方はハムエッグ、あの方はオムレツと言うように好みを承知して作っていました。

投手の方は個室にて別格扱いでした。「部屋に行ったらあかんで」と母に良く注意されました。ロータリーの例会に夫と出向いた折に、杉下 茂さんから「あの時のお嬢ちゃん」と声をかけられましたが、「現役時代は買い物に行っても腕を痛めてはいけなと、荷物を持たず女房がいつも荷物持ち」とのお話をうかがい、改めて投手の方の別格扱いを思い出しました。

スポーツマンホテルは木造の長方形の2階建てでした。正面に両開きの扉があり、2階の屋根の破風には辰の落とし子のマークが飾られていました。玄関を入るとロビーで、スポーツ大会のポスターが屏風に表装され飾られていました。奥に厨房に続くカウンターがあり、野球選手の方は「トーストにしてな」とか色々食事の注文をしていました。他のお客さんはホテル側で決めたものでしたので、野球選手の方は違う扱いでした。父も母も選手の健康管理に留意し、食事には特に気をつけていました。

ロビー横から2階に上がると、大広間があり、廊下を挟んで客室があるという造りでした。風呂、従業員用の部屋、家人の私室は1階の奥の方がありました。奥行きが深い建物でした。

毎日オリオンズが優勝した折には、スポーツマンホテルの玄関前でファンの皆さんが「オリオンズ オリオンズ 東天の花」と歌っていたことが、今でも耳に残っています。

野球史に残る選手の方と、幼い子どもであった故に気楽にお話をし、遊んでもらっていたのだと面映ゆく懐かしい思い出です。



こんにちは図書室です



スクラップブックいろいろ

今回は図書室で所蔵する資料の中から3種類のスクラップブックをご紹介します。

これらは当館ホームページの蔵書検索や図書室内の資料検索用パソコンにはデータをいれておりませんので、図書室で直接職員におたずね下さい。

①鈴木龍二氏から寄贈されたスクラップ（戦前）

このスクラップはセントラル・リーグの会長を務めた鈴木 龍二（1982年殿堂入り）氏から当館へ寄贈されましたが、実際スクラップを作ったのは河野 安通志（1960年殿堂入り）氏だと言われています。河野氏は早稲田大学時代ピッチャーで、1905（明治38）年のアメリカ遠征で最新の野球技術を日本にもたらしました。また、1920（大正9）年には日本初のプロ野球チームである日本運動協会を創設したメンバーの一人でした。1936（昭和11）年に現在のプロ野球リーグが発足した後は監督やチームの代表などを歴任しました。このスクラップは1936（昭和11）年から1941（昭和16）年までの職業野球の記事が貼っており、草創期のプロ野球の日々の動きを知る上で貴重な資料となっています。

②新聞記者のスクラップ（戦後）

図書室では新聞記者の方々が作成したスクラップブックも多数所蔵しています。これらの中から元共同通信社の青柳秀雄氏が作成したスクラップを紹介します。

このスクラップは1950（昭和25）年から1993（平成5）年までの新聞（新聞の出典がわかりません）がスクラップされています。プロ野球のスクラップは試合と出来事を分けて貼ってあるので、試合を見たい時は「ペナントレース」のスクラップ、プロ野球のドラフトなど試合以外の記事を見るときは「プロ野球日誌」のスクラップ、と見やすく工夫されています。

記者の方々のスクラップの大きな特徴は、必要な情報だけが整理されて貼られていることです。私たちスタッフが調べる際には最初にこのスクラップで情報を集めます。



③図書室で作成しているスクラップブック（1978年～）

図書室に入って右の棚には黄、赤、青の三色のスクラップがあります。これは1978年頃から1998年までのスポーツ新聞をプロ野球、高校野球、大学野球、社会人野球、大リーグ、韓国、台湾の7つに分類しスクラップブックへ貼ってあります。新聞は主に日刊スポーツとスポーツニッポンですが、他のスポーツ新聞も貼ってあることもあります。一つの記事でも新聞社によって取り上げ方が違うので、その違いを見るのも面白いですし、試合だけではなく、試合以外の記事やシーズンオフの記事もスクラップしているので、選手の周辺情報も知ることができます。

図書室ではこの3種類のスクラップや報知新聞などを含めると、1936（昭和11）年から現在まで（1947年の1月～3月を除く）の野球記事を見ることができます。ぜひご利用ください。

司書 茅根 拓



博物館からのお知らせ

【訃報】

1994年野球殿堂入りの与那嶺 要氏が2月28日に逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

【事務局長】



2月1日付で(株)東京ドームより出向の廣瀬 信一が事務局長に就任いたしました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

〔略歴〕廣瀬 信一(ひろせ しんいち)

1955(昭和30)年6月20日生まれ

東京都出身 上智大学経済学部卒

1980(昭和55)年 株式会社 後楽園スタジアム(現・株式会社 東京ドーム)入社

1999(平成11)年 広報部長

2005(平成17)年 総務部長

2009(平成21)年 株式会社 東京ドームホテル 出向

2011(平成23)年 財団法人 野球体育博物館 出向

【販売中!】

次の商品を、博物館の受付で販売しております。ご来館の記念にぜひお買い求め下さい。

1 NPB統一球オーセンティックボール 2,500円(税込)
(シリアルナンバー入りNPB承認シール付き)



※郵送希望の方は、「公認球希望」と明記の上、代金(公認球代+梱包送料)を現金書留で当博物館までご送付下さい。

公認球: 1個 2,500円

梱包送料: 1個 250円

2~3個 400円

4個以上 送料無料

送付先: 〒112-0004 東京都文京区後楽1-3-61

財団法人野球体育博物館 公認球係

なお、旧公認球の販売は終了しました。

2 クオ・カード 各1,000円(税込) ※額面 500円



野球殿堂入りの長嶋 茂雄氏と王 貞治氏の「クオ・カード」です。なお、引続き日米野球のテレホンカードを販売しています。

(1,000円)

3 オリジナルキーホルダー 500円(税込)



素材:牛革貼合せ

サイズ:105mm×40mm

4 オリジナルPINバッチ 500円(税込)



素材:銅

サイズ:31.5mm×24mm

厚さ:1.4mm

裏ロゴ:THE BASEBALL HALL OF FAME AND MUSEUM SINCE 1959

KOURAKU, BUNKYO, TOKYO

<http://www.baseball-museum.or.jp>

5 オフィシャル・ベースボール・ガイド 2011 2,900円(税込)
(社)日本野球機構編



1963年から毎年発行されているプロ野球公式記録集です。両リーグの全選手投・打撃成績・全投手成績、日本シリーズ・オールスターゲームの記録集、イースタン・ウエスタンリーグの成績、セ・パ両リーグの記録集などプロ野球の1年の出来事がわかる一冊です。

● 博物館のご案内

場 所 東京ドーム21ゲート右

開館時間 3月1日~9月30日 AM10時~PM6時

10月1日~2月末日 AM10時~PM5時

(入館は閉館の30分前まで)

閉館時間が変更になる場合もありますので、ホームページなどでご確認下さい。

入館料 大 人 500円(300円) } ()は
小・中学生 200円(150円) } 20名以上の団体
65歳以上 300円

休館日 月曜日(祝日、プロ野球開催日、春・夏休み中の月曜日は開館)
年末年始(12月29日~1月1日)

《5月・6月・7月の休館日》

5月 9日・16日・30日

6月 13日・20日・27日

7月 4日・11日

● 編集後記

3月11日におきた東日本大震災で野球のみならず、さまざまな競技が中止や延期となりました。3月25日に開幕予定だったプロ野球も、2週間余り遅れて4月12日に開幕しました。今年は話題の新人選手が多いので、球場やテレビでの観戦が楽しみです。

Newsletter Vol.21 / No.1

2011年4月25日発行

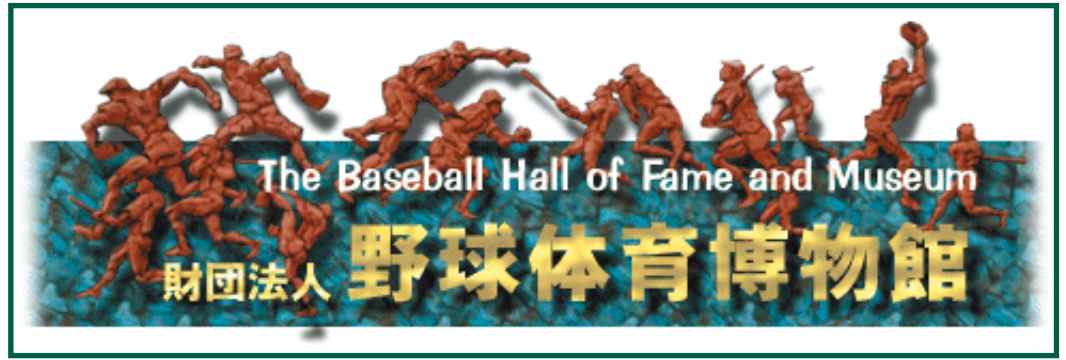
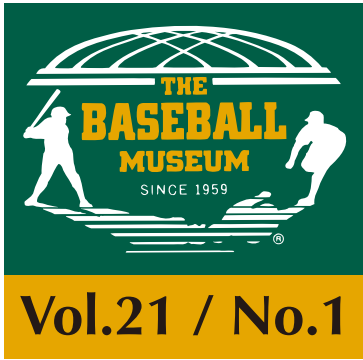
編集・発行 財団法人 野球体育博物館

〒112-0004 東京都文京区後楽1-3-61

Tel 03(3811)3600 Fax 03(3811)5369

<http://www.baseball-museum.or.jp/>

定価 100円



リレー随筆(44)

競技者表彰委員会幹事 千葉 直樹 (読売新聞東京本社)

東日本巨大地震の影響で開幕が延期されたプロ野球は4月12日に始まり、グラウンドにはいつも通りの活気とファンの歓声に戻ってきた。様々な意味で制約を受けながら乗り切るシーズン。まさに、プロ野球の「覚悟」が試される1年になるだろう。そして春は入社シーズン。震災報道で騒然とする私たちの会社にも、新入社員がやってきた。私たち運動部の野球担当記者はこの時期、新入社員研修の講師を頼まれる。お題は「野球スコアブックのつけ方」だ。研修を終えて地方支局に配属された新人記者は、まず間違いなく夏の高校野球地方大会の取材をする。球場での取材、執筆、写真撮影とすべて一人でこなさなければならない記者にとってスコアの記入法を覚えることは必須事項というわけだ。

昨年の講義開始前の教室で、約50人の新入社員を前に「スコアブックを心配なくつけられる人は」と聞くと、手を挙げたのはわずか3人。「まあ、そんなものか」とも思った。だが、講義を進めていって驚いたのは、スコアブックの記入上のルールが分からないということよりも、野球そのものに対する知識がかなりあやふやだという点だった。「得点と打点はどう違うのか」「フォースアウト」や「振り逃げ」「インフィールドフライ」の意味は…。サッカーが日本でもメジャースポーツとして認知されるようになったことも手伝って、新聞社で運動部を志望する人は多いというが、そうしたスポーツ好きが少なからず含まれた若者の集団でさえも、意外と知らないのだ。高校野球の試合を録画したDVDを見ながら、行きつ戻りつの実地講習。持ち時間の2時間でも、こちらが用意したすべてのことを伝えることはできなかった。

野球に対する知識・関心の欠如の背景は、娯楽の多様化、そして野球を見なくなったことに尽きる。テレビ中継が減って接触の機会が減ったこともあるのか。想像力をかき立ててくれるラジオは各局で中継しているが、iPod (アイポッド)、iPhone (アイフォン) 世代の若者たちの聴取率はいかばかりか。電車の中で携帯ラジオで野球中継を聞いているのは、私も含めたオッサン世代ばかりである。20数年前、新人記者として支局で最初に仕えたデスクからは「俺は小中学生のころ、田舎でラジオの巨人戦中継を聞きながらスコアブックをつけたもんだ」とよく聞かされたが、いまはそんな子供もいないだろう。

スポーツ記者の方には、釈迦に説法であることをご容赦いただいたうえで、こんな計算式がある。

$$\text{打数} + \text{犠打 (犠飛)} + \text{四死球} + \text{妨害出塁} = \text{アウト数} + \text{得点} + \text{残塁}$$

野球取材では欠かせない、数字のミスを防止するためのボックススコアの検算式である。支局の新人のころ、球場から会社に帰ってくると、締め切り時間までの間にスコアブックを見ながら計算を繰り返したことを思い出す。通信社から投打の記録が自動組みで入ってくる今の職場では、覚えていなくても仕事にあまり支障はないが、野球ルールの基本の一端を理解する上では格好の教材であると思っている。新人研修の講師を頼まれた後、公式を思い出してみたが、スラスラと出てこなくて、慌てて覚え直した。まだまだ甘いなと思った。

今年もスコアブック研修などを終えた新人たちは、東京の本社からそれぞれ初任地の支局へと散っていった。特に、被災の爪跡が生々しく残る東北地方の支局へと配属された記者は、復興に立ち上がる人々の取材や、スコアブックに汗を垂らしながらの高校野球と、暑い夏を目まぐるしく過ごすことになるのだろう。